

白浜海象観測所における 2003 年度の特定観測(SOO-2003)

芹澤重厚・加藤 茂・仁木将人・山下隆男

2003 年夏期に白浜観測所では、ルーチン観測（観測塔およびその周辺での波浪、風向・風速、水温、潮位、流向・流速）に加えて、以下の特定観測を実施した。

1. 固定点における連続観測

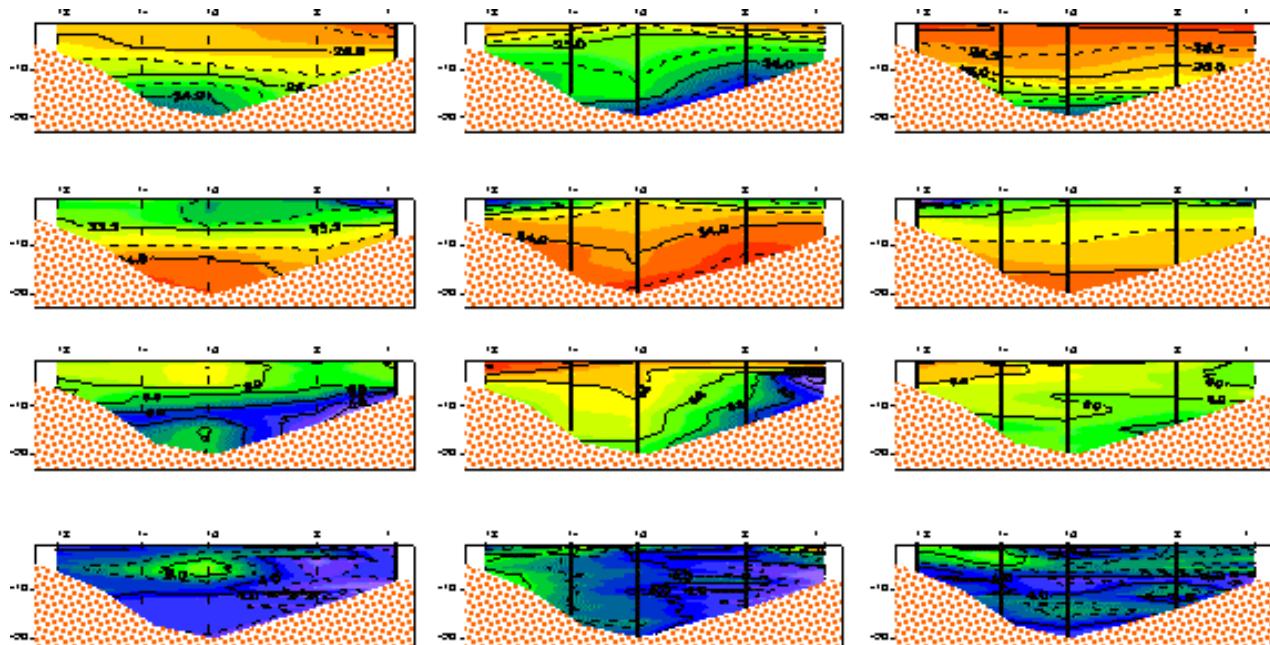
2003 年 7 月 7 日～8 月 4 日の間、午前 9 時に近畿大学水産研究所の養殖桟橋の先端（水深約 9m）において CTD (Conductivity-Temperature-Depth) センサー SBE-25 (Sea Bird Electronics 社製) による塩分、水温、溶存酸素、クロロフィル a および透過度の鉛直分布計測を行った。また中層（3m）で海水を採取し、植物プランクトン個体数の計数を行った。同地点での植物プランクトン組成との比較のため、田辺湾湾口並びに湾央においても水深 3m 付近で採水し、植物プランクトン個体数の計測を数回行った。

2. 広域観測

田辺湾内および湾口付近に 12 の観測点を設定し、CTD による広域観測を計 15 回実施した（2003 年 7 月 7 日、11 日、15 日、16 日、17 日、18 日、21 日、22 日、24 日、25 日、27 日、29 日、31 日、8 月 1 日、4 日）。CTD 観測と並行して栄養塩に関しても、広域観測を行った 12 測点の中から 6 測点を選び、計 4 回（2003 年 7 月 18 日、22 日、25 日、8 月 1 日）実施した。

3. ADCP による平均流観測

観測塔の沖合約 100m 地点（水深約 30m）に ADCP を設置し、湾口部における平均流観測を実施した。データ収録には専用ケーブルを用いて、観測塔での real-time 収録を行った。



観測船を使った CTD による広域観測結果（水温、塩分、溶存酸素、クロロフィル a）